

市民フォーラムアンケート全体集約分

市民フォーラムについて

○今後、どのようなテーマのフォーラムを希望しますか。

(希望するテーマ)

1. 虐待問題、いじめの解決策
2. その時、その時点で関心の高いテーマ
3. 子育てに関すること
4. 少子高齢化社会の対応
5. 健康寿命を延ばすために
6. 老後の生き方、介護について
7. 高齢者福祉施設の充実
8. 高齢者の社会貢献について
9. 高齢者の居場所づくり（認知症にならないために）
10. 地域振興、活性化、まちづくり
11. 議会制度

○今日のフォーラムでお気づきになった点、ご意見等がありましたらご記入ください。

1. 素晴らしい内容だったのに若い世代の参加が少なかったのが残念。
2. 子育てへのサポートが急務。今後の新保育園の期待（特に一時保育、病児保育、特別支援）
一時保育への行政の支援（補助も必要か）
3. 山本先生のお話をもっとゆっくり聞きたかった。たくさんの若いお母さんたちにも聞いてほしかった。
4. 山本先生のお話は大事なことで大変感動した。他のお母さんや子どもたちにも伝えていきたい。

5. 土、日曜日に開催してもらえば出席しやすい。
6. パネルディスカッションはディスカッションになっていない。
7. 市民の意見を皆が聞く事も大切であった。
8. パネルディスカッションの時間はもう少し時間を取った方がよい。
9. この時間帯で行うと、普通に子どもを育てている親は来られないと思う。
10. アンケートのいずれか1つにしか〇ができないのは厳しい。
11. 市議会主催なので、議員の皆さんの意見が聞きたかった。
12. パネラーの5分間の持ち時間を全員オーバー、とても聞きづらい。5分間以内を厳守すること。
13. 保育士の給料が安すぎることだけがわかった。
14. 子育て支援の講演会、今後多くすることを望みます。
15. 保育所の充実と保育士が安心して保育できるよう行政はじめ保護者の支援が必要と思う。
16. 大変勉強になりました。
17. 保護者代表が少ない、時間が少ない。
18. 議論が中途半端、ある程度結論、解決策を示すようにしなければ、何のためのフォーラムか。
19. 今、わが子が小学生、幼稚園児です。ぜひ中学生、高校生になって聞かせたいと思います。検討をお願いします。
20. 基調講演は早口で迫力があつた。
パネルディスカッションには、市議はコーディネーターでなくパネリストの一人になるべきと思うが。議員の意見が聞きたかった。
21. パネルディスカッションを聞いて思ったのは、自分たちの施設から見た要望のように思えました。環境づくりについて考えるならハード面とソフト面があつて当然。山本先生の講演にあつたように「みんなで子育てをしましょう」そこが一番大切なのではないでしょうか。パネリストの皆さんが語つたのはハード面（ある意味）地域や家族で支えられるソフト面が、もう少し語り合える場面があれば、もっと会場に来た皆さんが環境づくりを深く考えること

ができたのではないのでしょうか。

安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

○子育て環境づくりに向けたご意見はありますか。

1. 子育ては地域皆で取り組み、観音寺市の子どもたちが、健やかに育つことを望んでいます。
2. 市は考えていくと言いながら、数年前からあまり変わっていないのが現実。保育士の募集を待つだけでなく、保育士の学校等に自ら行き行動をおこしてほしい。
3. 三世代による子育てが理想と考えていますが、現在は、核家族化が進み困難な状況となっています。また、仮に同居していても子育てに対する認識が親と祖父母では大きな温度差があり、祖父母には任せられないと考えている親も多いのではと思います。そこで、親だけでなく祖父母に対する育児教室も必要かと思えます。
4. 子育て支援施設として、誰もが簡単に利用できる一時預かり所や乳幼児と一緒に遊べたり育児相談を気軽に受けれるよう施設がもっと必要と考えます。
5. 核家族を一家族でも少なくする方法として、高齢者と子どもたちとのふれあいの場を多く作ってください。
6. 保育所、幼稚園に預けて子育てしながら仕事ができることは、経済的にも、子どもの数を増やす意味でも大切ですが、保育士や幼稚園の先生が足りないと聞きます。正規職員の数を増やし安心出来る環境がほしいです。また、いつでも気軽に相談できる保健師さんの存在が大きかったです。保健師さんの数も増やしてほしいです。人を動かすのは人です。人員削減はしないでください（正規職員なら募集にくると思えます）よいフォーラムをありがとうございました。市民の声を聞いていただけたように思います。
7. 保育所を統合すべきでないと思う。遠くなると利用しにくくなります。どこの保育所でも育休明けから子どもを受け入れられるような体制が少子化の歯止めになるのではないのでしょうか。
8. 子どもは宝です。立派な成人にするのが務めです。しかし成人にするには、体力、精神力がとても必要です。その疲労を助けるのは金銭面での扶助と思います。公的な資金は貯蓄にまわるかもしれませんが、それが心のゆとりにつながり子育て、子どもの成長につながると思えます。

9. 以前より働く親も増えたと思うが、一人で育てられない親も増えてきたと思う。まず、働く親への育児サポートとして、病後時保育の充実だと思う。観音寺市は今一つ満足できない。今進行中の新しい保育施設で是非、病後時保育と一時保育を実践してほしいと思う。また、一人で不安になったり、育てにくい子どもについても相談したり、協力してくれる人が必要でないかと思う。親子そろって安心して遊べる施設も観音寺市には少ない。
10. 子育て支援サービスの充実。気軽に相談できる場所の確立とスタッフの確保を。
現在保育士、相談員、保健師の増が必要です。
11. 認定保育園など幼保一体型の施設整備が必要（豊田地区は幼稚園のみで、保育施設がなく、他の地区へ行っている）親の希望は夕方まで保育してくれる施設。
病児、病後児などの一時預かりの充実。
学童居残りの開設（各小学校の低学年生）
12. お金の支援もあればよいが、それよりも親・祖父母また近隣の助けが得られるような雰囲気づくり・環境づくりが大切です。現在は、三世代家族も減少し核家族化が進行している。山本先生の話のとおり近くの人誰でも手伝いできる地域づくり、雰囲気づくりが大切。皆が取り組みたいことです。
13. 保育園を拡充しても特別保育は自主事業、近隣の市よりも保育士の処遇も悪く定着しない。これではハコだけ増えて中味の無いものになるのでは。また、きちんとした子どもたちが安心して遊べる公園などの環境も整っていない。働く場所も少なく市の財政も厳しいため、安心して生活することも難しい。アパートの家賃も高いらしくわざわざ引越すする人もいるという話です。
14. 子育てには、保育所、幼稚園の先生の働く条件（特に給料が安いので）を良くして、今から日本を背負っていく若い人達が働きやすい子育てに力を入れてほしい。お年寄りも大事だが子育ての方がもっと大事だ。
15. 認可外園等への助成・拡充が必要。
市としての公立・私立・認可外園等を含む総合的育児・保育施策の策定が必要。
市内全ての保育士の資質向上、待遇改善、職場環境の向上等も必要。
16. 豊浜支所横にあるすくすくクラブを継続してほしい。
17. 出産・保育制度の周知不足 → 不安 → 少子化
行政の制度は、自分から情報を取りに行かないと知らされないのもっと周知を。
18. 保育士が足りないというが、市の採用には数人の募集に対してたくさん集まるのに・・・

19. 保育士の絶対数が不足しているのなら、県の保育専門学校の復活を考えるべきでは。養成機関や学校は多い方がよい。そこで学んだ人たちの中で、子育ての情熱を強く持つ人が保育士になってほしい。
20. 幼稚園教諭、保育士不足が全国的な傾向にある。この対策を講じる必要性があると思う。パネルディスカッションは、行政を攻めたり、行政への要望を聞く場ではないと思うが。
21. 0歳と1歳からの子育て支援の場所、時間等を増やしたり分けてほしい。
22. 宇多津にある支援センターで、英語や紙芝居などとても環境がよく、若いお母さんが多く人気なので歌や木で遊ばせてあげたい。
仕事に再就職35歳以上でもできるようにしてほしい。
23. 3年前子育てのサポートとして観音寺シルバーですくすくクラブを立ち上げました。子育て支援課の方達と一緒に先進地視察をし、いろいろ案をねり立ち上げやっと3年目で軌道にのってきたところです。子育て真っ最中の方々からは観音寺の取組みは進んでいると喜ばれ、こういう場所や一時預かりがあるので、病院へ行く時、二番目の出産時にしても助かると言われていました。しかし、予算の関係でこの3月で休館しなくてはならなくなり利用者が困惑しています。現在、年間利用者も多く再館できることを望んでいます。
24. 幼児と高齢者が共に行き来できる複合施設を、できれば公共で、あるいは地域のNPOなどで立ち上げていくこと（核家族化の中で育児する者夫婦の支えとなるから）子どもを産みやすくする町、地域づくりを第一にする行政であってほしい。
25. 子育てしやすい環境づくりも大切ですが、子どもを産める環境が大切だと思います。
26. 3歳までは、ひざの上で子育てをしてほしいと思っております。仕事との両立は難しい・・・共働きをしないと生活しにくいのも現状です。何が良いのかはいつも疑問です。一時預かりも反対です。慣れない環境に入る子どもはどうなのでしょう。普段から利用できる環境の上にあるのであれば良いと思います。友枝先生の事例を聞くとなおさらそう思う。
27. 乳幼児医療費無料制度・幼児教育無償化・放課後児童クラブなどの充実ももちろん大切だが、他のさまざまな事もすべてつながりの中で考えていくべき。すなわち、経済の活性化、雇用の場の確保、定住のための住宅、教育環境の整備など、全体最適化の向上の中で、安全・安心して子育てができる。

保育士不足について

45歳までと制限を広げているが、その年齢を超えるとどうしても毎日勤務するのは難しかったりすると思います。先生が休んだ時や病中保育とか特別な保育が発生した場合にだけ来られるという形をとってもらえたら高齢でも資格を生かせるのでは。